

地域資源デジタルアーカイブにおける資料の保管方法の研究 ～飛騨高山匠の技におけるデータベースの構築～

○久世均

岐阜女子大学

〒501-2592 岐阜市太郎丸 80

E-mail: pfe01173@nifty.com

Study on storage method of materials in regional resource digital archive:

～Construction of a database in the technique of Hida Takayama Takumi～

KUZE Hitoshi

Gifu Women's University

80 Taroumaru, Gifu, 501-2592 Japan

飛騨高山匠の技の歴史は古く、古代の律令制度下では、匠丁（木工技術者）として徴用され、多くの神社仏閣の建立に関わり、平城京・平安京の造営においても活躍したと伝えられている。しかし、現在の匠の技術や製品についても、これら伝統文化産業における後継者の問題や海外への展開、地域アイデンティティの復活など匠の技を取り巻く解が見えない課題が山積している。

本研究では、知識循環型社会におけるデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという本学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、これらの地域課題に実践的な解決方法を確立するための、地域資源に関する総合的な地域文化の創造を進めるデジタルアーカイブの保管方法について研究したので報告する。

1. はじめに

飛騨高山の匠の技に関する総合的な地域文化の創造を進めるデジタルアーカイブでは、産業技術、観光、教育、歴史等で新しい「知の増殖型サイクル」を目的とした総合的なデジタルアーカイブとして捉えている。そこで、これらの飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ（以下、飛騨高山匠の技 DA と呼ぶ。）を「知の増殖型サイクル」として適用すると図1のような構成になる。

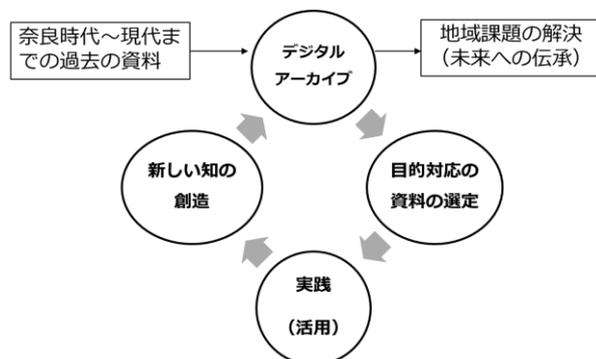


図1 知の増殖型サイクル

そこで、この「知の増殖型サイクル」を具体的に飛騨高山匠の技 DA に適用し、知の増殖型サイクルとしての地域資源デジタルアーカイブの開発を試みた。このことにより、飛騨高山匠の技 DA を構築し、その地域資源デジタルアーカイブのオープン化と共にそのデータを有効的に活用し、新たな知を創造する本学独自の「知の増殖型サイクル」を生かして地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す手法を確立することが可能になる。ここでは、「知の増殖型サイクル」に適応する地域資源デジタルアーカイブにおける資料の保管方法について論述する。

2. 地域資源デジタルアーカイブ

飛騨高山匠の技 DA をデータベース化する際に、「知の増殖型サイクル」に適応するために Web 公開型と非公開型の2つの種類のデータベースを作成した。これらのデータベース

は、図2のような関係となる。

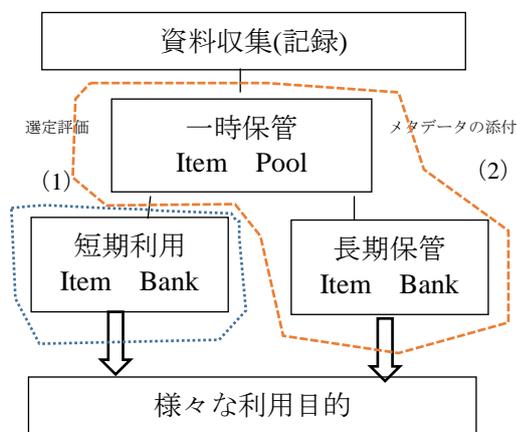


図2 Web公開型と非公開型DBの関係性

(1) Web公開型データベース

Web公開型データベースは、デジタルアーカイブしたものを、図3のように①名称②アイキャッチ画像③説明④関係資料⑤地図情報で構成されている。図2では短期利用 (Item Bank) に相当する。



図3 Web公開型データベース

(2) 非公開長期保管型データベース

非公開長期保管型データベースは、図4のように長期保存・管理を目的とするデータベ

ースで、映像は高品位な映像をそのまま保存し、紙メディアにおいては、できるだけ高品位にスキャンして保存している。このデータベースには、OCR機能があるため、データを文字で検索でき、メタデータもジャケット単位に付記することが可能になっている。非公開型となっているため、新しい知を創造するために必要と思われる情報を全てここに保管する。図2では一時保管のItem Poolと長期保管のItem Bankの機能を有するデータベースに相当する。

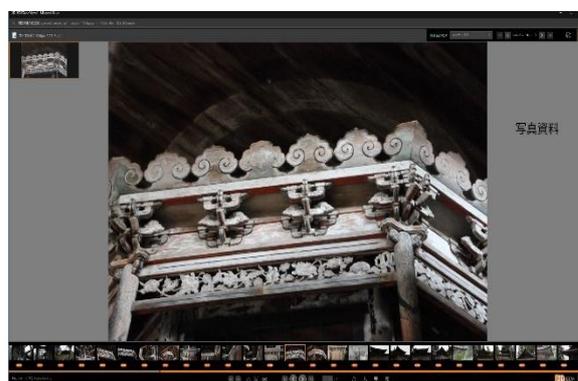


図4 非公開長期保管型データベース

3. おわりに

知識循環型社会においては、デジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確認し、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備が必要となる。

本研究では、知の増殖型サイクルを支える公開を目的としたWeb公開型データベースと長期保管を目的とした非公開長期保管型データベースについて報告した。

参考文献

[1] 久世, 富川: デジタルアーカイブにおける知の増殖型サイクルの実証的研究, 岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究報告, 2018, Vol. 1, No. 1, PP32-37



この記事の著作権は著者に属します。この記事は Creative Commons 4.0 に基づきライセンスされます(<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>)。出典を表示することを主な条件とし、複製、改変はもちろん、営利目的で

の二次利用も許可されています。